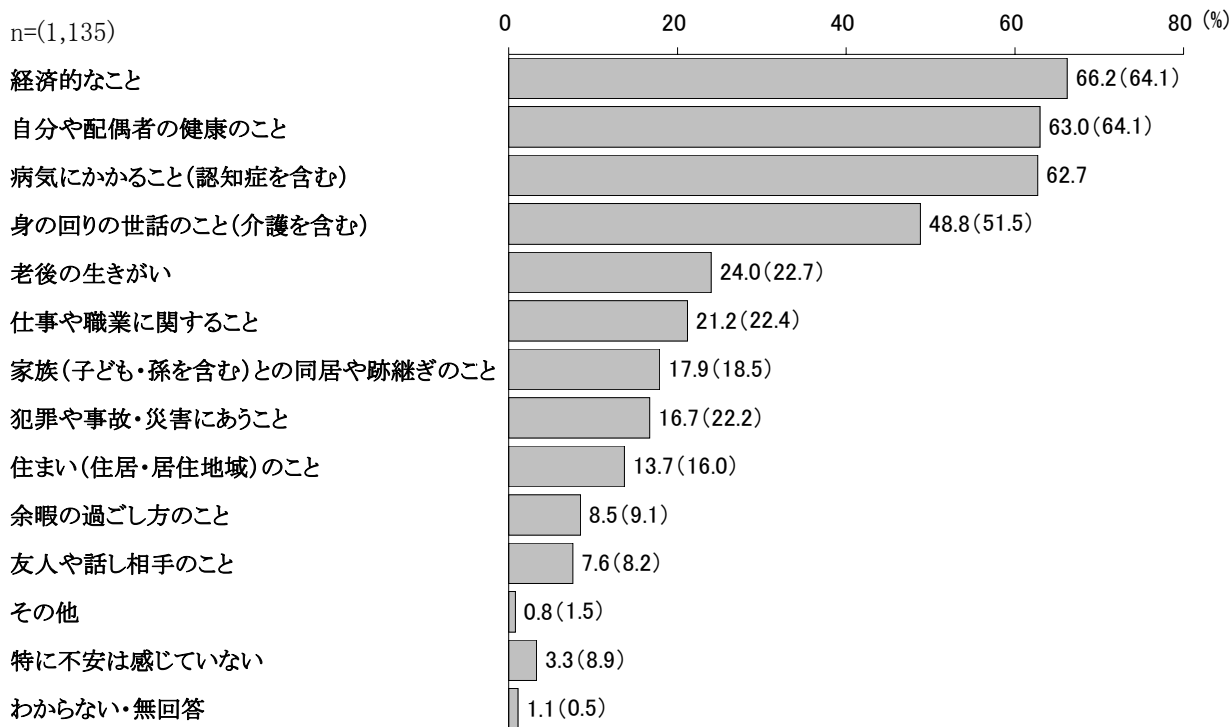


## V 健康長寿社会への対応

### 1. 老後の生活で不安を感じること

—「経済的なこと」「自分や配偶者の健康のこと」「病気にかかること（認知症を含む）」が6割超—

問16 あなたは、老後の生活について、どのようなことに不安を感じていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※( )内の数値は、平成19年の調査結果

※「病気にかかること（認知症を含む）」「わからない」の選択肢は、平成19年ではなし。

老後についての不安としては、「経済的なこと」(66.2%)、「自分や配偶者の健康のこと」(63.0%)、「病気にかかること（認知症を含む）」(62.7%)の3項目が、いずれも6割を超えて特に多くなっている。他の項目としては、「身の回りの世話のこと（介護を含む）」(48.8%)が5割近くとなっているほか、「老後の生きがい」(24.0%)、「仕事や職業に関すること」(21.2%)も2割を超えて多くなっている。

前回調査と比べると、「犯罪や事故・災害にあうこと」が約6ポイント減少している。

—男性の20代～50代、女性の20～40代では「経済的なこと」が1位—

地域別でみると、順位の違いはあるにせよ、上位3位は、「経済的なこと」「自分や配偶者の健康のこと」「病気にかかること（認知症を含む）」で占められている。また、すべての地域で、「身の回りの世話のこと（介護を含む）」が4位に入っている。

市郡別でみると、順位の違いはあるにせよ、上位3位は、「経済的なこと」「自分や配偶者の健康のこと」「病気にかかること（認知症を含む）」で占められている。また、すべての層で、「身の回りの世話のこと（介護を含む）」が4位に入っている。

性別でみると、順位の違いはあるにせよ、上位3位は、「経済的なこと」「自分や配偶者の健康のこと」「病気にかかること（認知症を含む）」で占められている。また、男女とも「身の回りの世話のこと（介護を含む）」が4位に入っている。

性・年齢別でみると、男性では、20代～50代では「経済的なこと」が、60代以上では「自分や配偶者の健康のこと」が1位となっている。「老後の生きがい」は、60代以上で5位に入っている。

一方、女性では、20代～40代で「経済的なこと」が、50代以上で「病気にかかること（認知症を含む）」が1位となっている。「老後の生きがい」は、50代以上で5位に入っている。

職業別でみると、その他の無職で、「身の回りの世話のこと（介護を含む）」が3位となっているのを別にすると、他の職業では、順位は多少違うものの、上位3位は、「経済的なこと」「自分や配偶者の健康のこと」「病気にかかること（認知症を含む）」で占められている。

ライフステージ別でみると、上位4位以内は順位の違いはあるが、大きな相違はない。5位については、独身期～家族成長中期では「仕事や職業に関すること」、家族成長後期～高齢期では「老後の生きがい」となっている。

表V 16-1 老後の生活で不安を感じること  
(地域別、市郡別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
総数		1135	経済的なこと 66.2	自分や配偶者の健康のこと 63.0	病気にかかること（認知症を含む） 62.7	身の回りの世話のこと（介護を含む） 48.8	老後の生きがい 24.0
【地域別】	県北	261	経済的なこと 70.1	病気にかかること（認知症を含む） 65.5	自分や配偶者の健康のこと 64.8	身の回りの世話のこと（介護を含む） 48.7	仕事や職業に関すること／老後の生きがい 23.8
	県央	181	経済的なこと 65.7	病気にかかること（認知症を含む） 65.2	自分や配偶者の健康のこと 63.5	身の回りの世話のこと（介護を含む） 53.0	老後の生きがい 28.2
	鹿行	105	自分や配偶者の健康のこと 69.5	病気にかかること（認知症を含む） 66.7	経済的なこと 64.8	身の回りの世話のこと（介護を含む） 43.8	家族（子ども・孫を含む）との同居や跡継ぎのこと／老後の生きがい 19.0
	県南	364	経済的なこと 61.5	自分や配偶者の健康のこと 60.7	病気にかかること（認知症を含む） 60.4	身の回りの世話のこと（介護を含む） 47.8	老後の生きがい 22.8
	県西	224	経済的なこと 70.1	自分や配偶者の健康のこと 61.2	病気にかかること（認知症を含む） 59.4	身の回りの世話のこと（介護を含む） 49.6	老後の生きがい 25.0
【市郡別】	人口10万人以上の市	508	経済的なこと 68.1	病気にかかること（認知症を含む） 64.4	自分や配偶者の健康のこと 62.8	身の回りの世話のこと（介護を含む） 50.4	老後の生きがい 25.6
	人口5万人以上の市	354	経済的なこと 65.0	自分や配偶者の健康のこと 64.7	病気にかかること（認知症を含む） 61.6	身の回りの世話のこと（介護を含む） 48.6	老後の生きがい 22.6
	人口5万人未満の市	174	経済的なこと 62.6	病気にかかること（認知症を含む） 59.8	自分や配偶者の健康のこと 58.6	身の回りの世話のこと（介護を含む） 43.1	老後の生きがい 22.4
	郡部	99	経済的なこと 66.7	自分や配偶者の健康のこと 65.7	病気にかかること（認知症を含む） 63.6	身の回りの世話のこと（介護を含む） 51.5	仕事や職業に関すること 26.3

表 V 16-2 老後の生活で不安を感じること  
(性別、性・年齢別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位	
【性別】	男性	574	経済的なこと 65.2	自分や配偶者の健康のこと 60.8	病気にかかること(認知症を含む) 57.7	身の回りの世話のこと(介護を含む) 45.3	仕事や職業に関すること/老後の生きがい 22.6	
	女性	561	病気にかかること(認知症を含む) 67.9	経済的なこと 67.2	自分や配偶者の健康のこと 65.2	身の回りの世話のこと(介護を含む) 52.4	老後の生きがい 25.3	
【性・年齢別】	男性	20~29歳	42	経済的なこと 71.4	病気にかかること(認知症を含む) 54.8	身の回りの世話のこと(介護を含む) 47.6	自分や配偶者の健康のこと 42.9	住まい(住居・居住地)のこと 23.8
		30~39歳	83	経済的なこと 78.3	自分や配偶者の健康のこと 57.8	病気にかかること(認知症を含む) 53.0	身の回りの世話のこと(介護を含む) 39.8	仕事や職業に関すること 37.3
		40~49歳	106	経済的なこと 76.4	病気にかかること(認知症を含む) 62.3	自分や配偶者の健康のこと 61.3	身の回りの世話のこと(介護を含む) 53.8	仕事や職業に関すること 31.1
		50~59歳	139	経済的なこと 69.1	自分や配偶者の健康のこと 64.0	病気にかかること(認知症を含む) 59.0	身の回りの世話のこと(介護を含む) 50.4	仕事や職業に関すること 30.2
		60~69歳	135	自分や配偶者の健康のこと 64.4	経済的なこと 58.5	病気にかかること(認知症を含む) 56.3	身の回りの世話のこと(介護を含む) 36.3	老後の生きがい 23.7
		70歳以上	69	自分や配偶者の健康のこと 60.9	病気にかかること(認知症を含む) 58.0	身の回りの世話のこと(介護を含む) 44.9	経済的なこと 33.3	老後の生きがい 20.3
		20~29歳	48	経済的なこと 77.1	自分や配偶者の健康のこと/病気にかかること(認知症を含む) 62.5	身の回りの世話のこと(介護を含む) 56.3	仕事や職業に関すること 37.5	
	女性	30~39歳	95	経済的なこと 82.1	病気にかかること(認知症を含む) 65.3	自分や配偶者の健康のこと 58.9	身の回りの世話のこと(介護を含む) 48.4	仕事や職業に関すること 34.7
		40~49歳	116	経済的なこと 81.9	自分や配偶者の健康のこと 67.2	病気にかかること(認知症を含む) 62.1	身の回りの世話のこと(介護を含む) 50.9	仕事や職業に関すること 25.0
		50~59歳	114	病気にかかること(認知症を含む) 75.4	自分や配偶者の健康のこと 72.8	経済的なこと 70.2	身の回りの世話のこと(介護を含む) 55.3	老後の生きがい 38.6
		60~69歳	113	病気にかかること(認知症を含む) 70.8	自分や配偶者の健康のこと 67.3	身の回りの世話のこと(介護を含む) 57.5	経済的なこと 55.8	老後の生きがい 25.7
		70歳以上	75	病気にかかること(認知症を含む) 68.0	自分や配偶者の健康のこと 57.3	身の回りの世話のこと(介護を含む) 45.3	経済的なこと 32.0	老後の生きがい 22.7

表V 16-3 老後の生活で不安を感じること  
(職業別, ライフステージ別-上位5位)

(単位: %)

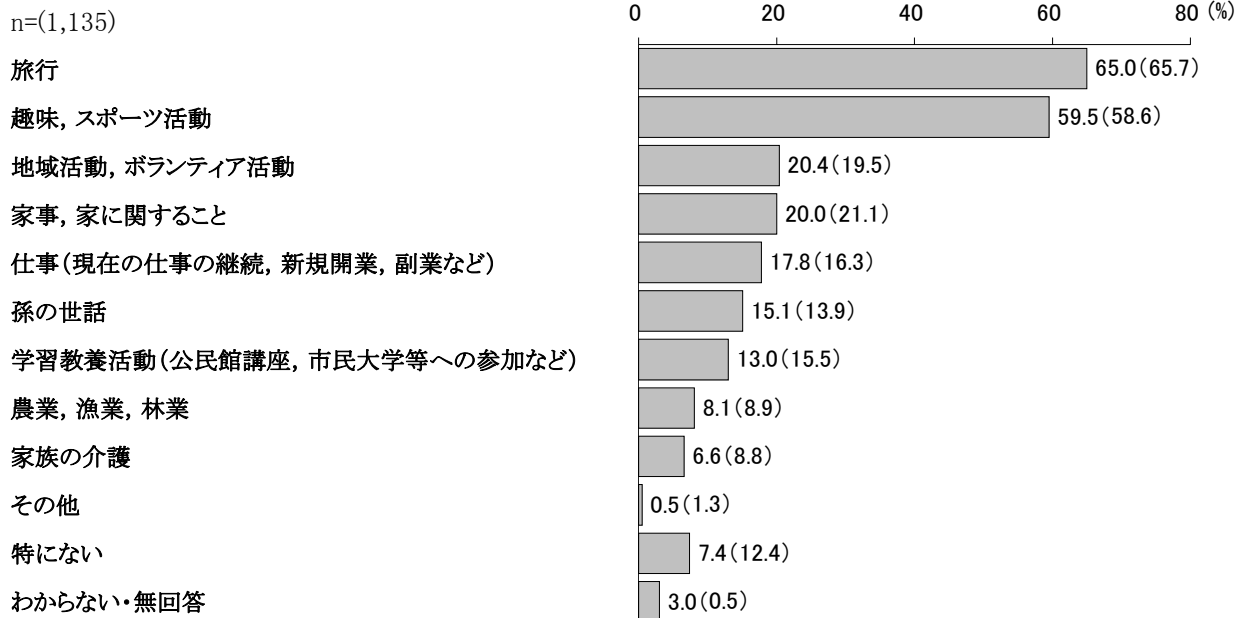
		n	1位	2位	3位	4位	5位
【職業別】	農林漁業	52	病気にかかること(認知症を含む) 59.6	自分や配偶者の健康のこと 51.9	経済的なこと 46.2	身の回りの世話のこと(介護を含む) 34.6	家族(子ども・孫を含む)との同居や跡継ぎのこと 28.8
	商工サービス業	116	経済的なこと 72.4	自分や配偶者の健康のこと 62.1	病気にかかること(認知症を含む) 60.3	身の回りの世話のこと(介護を含む) 50.9	仕事や職業に関すること 33.6
	自由業	30	自分や配偶者の健康のこと 73.3	経済的なこと/病気にかかること(認知症を含む) 60.0		身の回りの世話のこと(介護を含む) 53.3	仕事や職業に関すること/老後の生きがい/犯罪や事故・災害にあうこと 26.7
	管理職	82	経済的なこと 65.9	自分や配偶者の健康のこと 64.6	病気にかかること(認知症を含む) 59.8	身の回りの世話のこと(介護を含む) 45.1	老後の生きがい 30.5
	事務職・専門技術職	270	経済的なこと 77.0	自分や配偶者の健康のこと 63.7	病気にかかること(認知症を含む) 63.0	身の回りの世話のこと(介護を含む) 48.9	仕事や職業に関すること 27.8
	労務職	138	経済的なこと 71.0	自分や配偶者の健康のこと 59.4	病気にかかること(認知症を含む) 57.2	身の回りの世話のこと(介護を含む) 43.5	老後の生きがい 26.1
	学生	7	経済的なこと 71.4	病気にかかること(認知症を含む)/身の回りの世話のこと(介護を含む)/老後の生きがい		42.9	仕事や職業に関すること/住まい(住居・居住地域)のこと 28.6
	主婦	266	自分や配偶者の健康のこと 71.8	病気にかかること(認知症を含む) 70.7	経済的なこと 65.4	身の回りの世話のこと(介護を含む) 52.3	老後の生きがい 24.4
	その他の無職	169	病気にかかること(認知症を含む) 59.8	自分や配偶者の健康のこと 54.4	身の回りの世話のこと(介護を含む) 50.9	経済的なこと 49.1	老後の生きがい 20.1
【ライフステージ別】	独身期	122	経済的なこと 74.6	病気にかかること(認知症を含む) 50.0	身の回りの世話のこと(介護を含む) 49.2	自分や配偶者の健康のこと 45.9	仕事や職業に関すること 34.4
	家族形成・成長前期	146	経済的なこと 80.1	自分や配偶者の健康のこと 67.8	病気にかかること(認知症を含む) 64.4	身の回りの世話のこと(介護を含む) 45.9	仕事や職業に関すること 27.4
	家族成長中期	151	経済的なこと 77.5	自分や配偶者の健康のこと 69.5	病気にかかること(認知症を含む) 64.2	身の回りの世話のこと(介護を含む) 43.7	仕事や職業に関すること 29.1
	家族成長後期	102	経済的なこと 72.5	自分や配偶者の健康のこと 63.7	病気にかかること(認知症を含む) 61.8	身の回りの世話のこと(介護を含む) 55.9	老後の生きがい 29.4
	家族成熟期	152	経済的なこと 71.7	自分や配偶者の健康のこと 71.1	病気にかかること(認知症を含む) 65.8	身の回りの世話のこと(介護を含む) 51.3	老後の生きがい 31.6
	高齢期	382	病気にかかること(認知症を含む) 63.4	自分や配偶者の健康のこと 63.1	経済的なこと 47.9	身の回りの世話のこと(介護を含む) 46.3	老後の生きがい 23.8
	その他	77	経済的なこと 75.3	病気にかかること(認知症を含む) 68.8	身の回りの世話のこと(介護を含む) 63.6	自分や配偶者の健康のこと 49.4	仕事や職業に関すること 36.4

(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

## 2. 老後の生活でしたいこと

—「旅行」が6割台半ばで最も多い—

問17 あなたは、老後の生活でどのようなことをしたいと思っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※( )内の数値は、平成19年の調査結果

※「わからない」の選択肢は、平成19年ではなし。

老後の生活でしたいこととしては、「旅行」(65.0%)が6割台半ばで最も高く、次いで「趣味, スポーツ活動」(59.5%)が約6割で、「地域活動, ボランティア活動」(20.4%),「家事, 家に関すること」(20.0%)が2割台で続いている。

前回調査と比べると、各項目とも大きな比率の変動はない。

### —すべての層で「旅行」と「趣味, スポーツ」が上位2位—

地域別でみると、すべての地域で、「旅行」と「趣味, スポーツ活動」が上位2位を占めているが、3位に、県北, 県央, 鹿行では「家事, 家に関すること」、県南では「地域活動, ボランティア活動」が、県西では「仕事(現在の仕事の継続, 新規開業, 副業など)」となっている。

市郡別でみると、すべての地域で、「旅行」が1位、「趣味, スポーツ活動」が2位となっているが、人口10万人以上の市で「地域活動, ボランティア活動」が、人口5万人以上の市, 人口5万人未満の市では「家事, 家に関すること」が、郡部では「仕事(現在の仕事の継続, 新規開業, 副業など)」が3位に入っている。

性別でみると、上位2位は同じであるが、3位が、男性では「地域活動, ボランティア活動」、女性では「家事, 家に関すること」となっている。また、女性では、5位に「孫の世話」が入っている。

性・年齢別でみると、男性では、1位か2位かの違いはあるものの、上位2位は「旅行」と「趣味, スポーツ活動」である。30代~50代では「仕事(現在の仕事の継続, 新規開業, 副業など)」が、60代では「地域活動, ボランティア活動」が3位に、70歳以上では「地域活動, ボランティア活動」が「趣味, スポーツ活動」と同率2位、「学習教養活動(公民館講座, 市民大学等への参加など)」が4位となっている。一方、女性では、1位か2位かの違いはあるものの、上位2位は「旅行」と「趣味, スポーツ活動」である。20代では「孫の世話」が、30代では「地域活動, ボランティア活動」と「家事, 家に関すること」が、40代では「学習教養活動(公民館講座, 市民大学等への参加など)」「仕事(現在の仕事の継続, 新規開業, 副業など)」が、50代~70歳以上では「家事, 家に関すること」が、それぞれ3位に入っている。

職業別でみると、1位か2位かの違いはあるものの、上位2位は「旅行」と「趣味、スポーツ活動」であるが、自由業では「仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など）」も2位となっている。農林漁業、商工サービス業、労務職では、「仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など）」が、管理職、事務職・専門技術職、その他の無職では「地域活動、ボランティア活動」が、主婦では「家事、家に関すること」が3位に入っている。

ライフステージ別でみると、すべてのステージで、1位か2位かの違いはあるものの、上位2位は「旅行」と「趣味、スポーツ活動」である。家族形成・成長前期のみが、「孫の世話」が3位に入っているのが特徴的である。

表V 17-1 老後の生活でしたいこと（地域別、市郡別—上位5位）

（単位：％）

		n	1位	2位	3位	4位	5位
総数		1135	旅行 65.0	趣味、スポーツ活動 59.5	地域活動、ボランティア活動 20.4	家事、家に関すること 20.0	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 17.8
【地域別】	県北	261	趣味、スポーツ活動 61.3	旅行 60.5	家事、家に関すること 19.9	地域活動、ボランティア活動 19.2	孫の世話 16.5
	県央	181	旅行 61.3	趣味、スポーツ活動 59.1	家事、家に関すること 22.1	地域活動、ボランティア活動 20.4	学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など）／仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 15.5
	鹿行	105	旅行 59.0	趣味、スポーツ活動 56.2	家事、家に関すること 24.8	地域活動、ボランティア活動 19.0	学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など） 14.3
	県南	364	旅行 69.2	趣味、スポーツ活動 59.3	地域活動、ボランティア活動 22.8	家事、家に関すること 20.1	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 19.0
	県西	224	旅行 69.2	趣味、スポーツ活動 59.4	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 22.3	孫の世話 19.6	地域活動、ボランティア活動 18.8
【市郡別】	人口10万人以上の市	508	旅行 67.1	趣味、スポーツ活動 64.2	地域活動、ボランティア活動 24.2	家事、家に関すること／仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 18.7	
	人口5万人以上の市	354	旅行 63.8	趣味、スポーツ活動 57.1	家事、家に関すること 22.9	地域活動、ボランティア活動 18.1	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 16.7
	人口5万人未満の市	174	旅行 63.2	趣味、スポーツ活動 56.3	家事、家に関すること 17.8	地域活動、ボランティア活動 16.1	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 15.5
	郡部	99	旅行 61.6	趣味、スポーツ活動 49.5	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 21.2	家事、家に関すること 20.2	地域活動、ボランティア活動／孫の世話 17.2

表 V 17-2 老後の生活でしたいこと（性別、性・年齢別—上位5位）

（単位：％）

		n	1位	2位	3位	4位	5位
【性別】	男性	574	旅行 62.7	趣味、スポーツ活動 62.4	地域活動、ボランティア活動 22.1	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 21.4	家事、家に関すること 16.4
	女性	561	旅行 67.4	趣味、スポーツ活動 56.5	家事、家に関すること 23.7	地域活動、ボランティア活動 18.7	孫の世話 17.6
【性・年齢別】	男性	20～29歳	趣味、スポーツ活動 73.8	旅行 59.5	地域活動、ボランティア活動／家事、家に関すること 21.4	孫の世話 16.7	
		30～39歳	趣味、スポーツ活動 67.5	旅行 61.4	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 25.3	孫の世話／農業、漁業、林業 15.7	
		40～49歳	趣味、スポーツ活動 81.1	旅行 69.8	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 25.5	地域活動、ボランティア活動 17.0	家事、家に関すること 16.0
		50～59歳	旅行 64.7	趣味、スポーツ活動 61.9	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 29.5	地域活動、ボランティア活動 25.9	家事、家に関すること 17.3
		60～69歳	旅行 63.7	趣味、スポーツ活動 57.8	地域活動、ボランティア活動 24.4	家事、家に関すること 18.5	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 14.8
		70歳以上	旅行 49.3	趣味、スポーツ活動／地域活動、ボランティア活動 30.4		学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など） 15.9	家事、家に関すること／仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 11.6
		20～29歳	旅行 75.0	趣味、スポーツ活動 56.3	孫の世話 37.5	地域活動、ボランティア活動／家事、家に関すること 22.9	
	女性	30～39歳	旅行／趣味、スポーツ活動 65.3		地域活動、ボランティア活動／家事、家に関すること 20.0	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 17.9	
		40～49歳	旅行 70.7	趣味、スポーツ活動 65.5	学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など）／仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 19.8		孫の世話／家事、家に関すること 17.2
		50～59歳	旅行 74.6	趣味、スポーツ活動 62.3	家事、家に関すること 25.4	学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など）／孫の世話 20.2	
		60～69歳	旅行 62.8	趣味、スポーツ活動 52.2	家事、家に関すること 31.9	地域活動、ボランティア活動 27.4	孫の世話 17.7
		70歳以上	旅行 56.0	趣味、スポーツ活動 29.3	家事、家に関すること 24.0	地域活動、ボランティア活動／学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など） 13.3	

表V 17-3 老後の生活でしたいこと（職業別—上位5位）

（単位：％）

		n	1位	2位	3位	4位	5位
【職業別】	農林漁業	52	旅行 57.7	趣味、スポーツ活動 32.7	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 26.9	農業、漁業、林業 26.9	地域活動、ボランティア活動 15.4
	商工サービス業	116	旅行 56.9	趣味、スポーツ活動 53.4	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 34.5	家事、家に関すること 19.0	地域活動、ボランティア活動／孫の世話 17.2
	自由業	30	旅行 56.7	趣味、スポーツ活動／仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 46.7		地域活動、ボランティア活動／農業、漁業、林業 20.0	
	管理職	82	趣味、スポーツ活動 79.3	旅行 73.2	地域活動、ボランティア活動 32.9	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 20.7	家事、家に関すること 18.3
	事務職・専門技術職	270	趣味、スポーツ活動 74.4	旅行 74.1	地域活動、ボランティア活動 20.4	家事、家に関すること 19.6	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 19.3
	労務職	138	旅行 63.0	趣味、スポーツ活動 55.1	仕事（現在の仕事の継続、新規開業、副業など） 22.5	孫の世話 19.6	家事、家に関すること 15.2
	学生	7	旅行／趣味、スポーツ活動 57.1		学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など）／農業、漁業、林業 14.3	— —	
	主婦	266	旅行 66.9	趣味、スポーツ活動 59.0	家事、家に関すること 26.7	地域活動、ボランティア活動 21.1	学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など） 18.0
	その他の無職	169	旅行 53.8	趣味、スポーツ活動 43.8	地域活動、ボランティア活動 24.9	家事、家に関すること 18.3	学習教養活動（公民館講座、市民大学等への参加など） 11.2

（注）学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。



表 V 17-4 老後の生活でしたいこと（ライフステージ別—上位5位）

（単位：％）

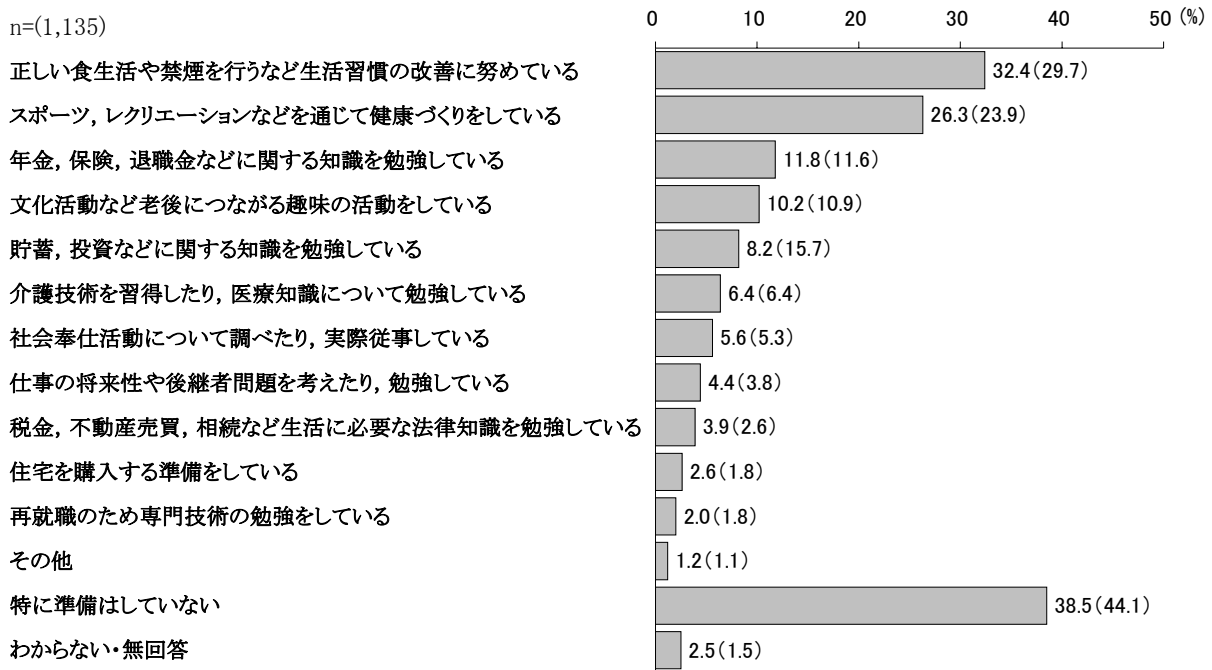
		n	1位	2位	3位	4位	5位
【 ライフ ステージ 別 】	独身期	122	趣味, スポーツ 活動 64.8	旅行 59.8	仕事（現在の仕 事の継続, 新規 開業, 副業な ど） 18.9	地域活動, ボラ ンティア活動 18.0	孫の世話 15.6
	家族形成・ 成長前期	146	趣味, スポーツ 活動 69.2	旅行 68.5	孫の世話 23.3	仕事（現在の仕 事の継続, 新規 開業, 副業な ど） 21.2	家事, 家に関す ること 20.5
	家族成長中期	151	旅行 67.5	趣味, スポーツ 活動 66.9	仕事（現在の仕 事の継続, 新規 開業, 副業な ど） 24.5	家事, 家に関す ること 21.9	孫の世話 19.2
	家族成長後期	102	旅行 70.6	趣味, スポーツ 活動 69.6	地域活動, ボラ ンティア活動 24.5	仕事（現在の仕 事の継続, 新規 開業, 副業な ど） 23.5	孫の世話 20.6
	家族成熟期	152	旅行 72.4	趣味, スポーツ 活動 59.2	仕事（現在の仕 事の継続, 新規 開業, 副業な ど） 21.7	家事, 家に関す ること 21.1	学習教養活動 （公民館講座, 市民大学等への 参加など） 17.1
	高齢期	382	旅行 59.2	趣味, スポーツ 活動 46.6	地域活動, ボラ ンティア活動 24.3	家事, 家に関す ること 22.3	学習教養活動 （公民館講座, 市民大学等への 参加など） 13.4
	その他	77	趣味, スポーツ 活動 70.1	旅行 67.5	地域活動, ボラン ティア活動/ 仕事（現在の仕 事の継続, 新規 開業, 副業など）	20.8	家事, 家に関す ること 14.3

### 3. 老後のための準備

—「正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている」が、3割強で最も多い—

問18 あなたは、老後のことを考えてどのような準備をしていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

n=(1,135)



※( )内の数値は、平成19年の調査結果

※「貯蓄、投資などに関する知識を勉強している」の選択肢は、平成19年では「貯蓄、投資など経済的な準備をしている」。また、「再就職先を相談したり、就職案内を調べたりしている」が2.8%。

老後のことを考えてしている準備としては、「正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている」(32.4%)が3割を超えて最も高く、次いで「スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている」(26.3%)が2割台半ばを超え、「年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している」(11.8%)、「文化活動など老後につながる趣味の活動をしている」(10.2%)が1割台で続いている。

前回調査と比べると、各項目とも大きな比率の変動はない。

—ほぼすべての層で「正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている」と「スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている」が上位2位—

地域別でみると、すべての地域で順位に多少の違いはあるものの、「正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている」と「スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている」が上位2位を占めている。3位に、鹿行、県南、県西で「年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している」が入っている。

市郡別でみると、特に大きな違いはみられない。

性別でみると、男女とも上位5位は一致している。

性・年齢別でみると、男性では、20代では、「スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている」と「貯蓄、投資などに関する知識を勉強している」が、30代、40代では「スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている」が、50代以上では、「正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている」が1位となっている。一方、女性では、全年代にわたって「正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている」が1位となっている。20代では「貯蓄、投資などに関する知識を勉強している」が、30代以上では「スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている」が2位となっている。

職業別でみると、すべての職業で「正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている」が1位となっている。農林漁業と自由業では、「年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している」が2位に入っている。

ライフステージ別でみると、順位の違いはあるものの、すべてのステージで「正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている」と「スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている」が上位2位を占めている。家族形成・成長前期、家族成熟期、その他では、「年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している」が3位に入っている。

表V 18-1 老後のための準備  
(地域別、市郡別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
総数		1135	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 32.4	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 26.3	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 11.8	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 10.2	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.2
【地域別】	県北	261	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 29.5	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 24.9	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 8.8	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 7.7	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 7.3
	県央	181	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 36.5	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 26.5	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 14.4	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 11.6	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 9.4
	鹿行	105	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 39.0	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 21.9	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 15.2	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 12.4	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている／仕事の将来性や後継者問題を考えたり、勉強している 7.6
	県南	364	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 35.7	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 29.1	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 13.2	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 10.7	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 8.2
	県西	224	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 25.0	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 24.1	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 12.9	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 8.9	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.5
	人口10万人以上の市	508	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 33.3	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 30.3	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 12.0	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 11.6	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.1
【市郡別】	人口5万人以上の市	354	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 31.4	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 21.5	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 11.9	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.5	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 8.2
	人口5万人未満の市	174	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 32.8	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 28.7	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 13.2	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 12.1	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 10.3
	郡部	99	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 31.3	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 18.2	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 10.1	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.1	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 6.1

表V 18-2 老後のための準備  
(性別、性・年齢別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位	
【性別】	男性	574	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 30.7	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 29.3	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 11.8	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 10.3	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.4	
	女性	561	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 34.2	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 23.2	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 11.8	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 10.2	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.0	
【性・年齢別】	男性	20～29歳	42	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている/貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 14.3	正しい食生活や禁煙を行うなど～/介護技術を習得したり～/文化活動など老後につながる～/社会奉仕活動について調べたり～/再就職のため専門技術の～/年金、保険、退職金などに～/住宅を購入する準備をしている 7.1			
		30～39歳	83	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 21.7	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている/年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 13.3	住宅を購入する準備をしている 9.6	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 7.2	
		40～49歳	106	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 27.4	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 24.5	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 10.4	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.5	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている/仕事の将来性や後継者問題を考えたり、勉強している 6.6
		50～59歳	139	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 36.0	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 34.5	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 16.5	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.6	仕事の将来性や後継者問題を考えたり、勉強している 7.9
		60～69歳	135	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 43.0	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 31.9	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 15.6	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 11.1	社会奉仕活動について調べたり、実際従事している 9.6
		70歳以上	69	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 40.6	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 34.8	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 21.7	社会奉仕活動について調べたり、実際従事している 13.0	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 11.6
	女性	20～29歳	48	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 18.8	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 14.6	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている/介護技術を習得したり、医療知識について勉強している/文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 8.3		
		30～39歳	95	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 27.4	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 15.8	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 12.6	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 8.4	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている/貯蓄、投資などに～/住宅を購入する準備～ 7.4
		40～49歳	116	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 27.6	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 19.0	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.6	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 7.8	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 6.9
		50～59歳	114	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 42.1	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 29.8	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 22.8	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 9.6	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 7.9
		60～69歳	113	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 42.5	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 30.1	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 13.3	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 12.4	社会奉仕活動について調べたり、実際従事している 8.0
		70歳以上	75	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 38.7	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 28.0	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 14.7	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 9.3	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.0

表V 18-3 老後のための準備  
(職業別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位	
【職業別】	農林漁業	52	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 30.8	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 17.3	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 15.4	税金、不動産売買、相続など生活に必要な法律知識を勉強している 9.6	介護技術を習得したり～/仕事の将来性や後継者問題を～/貯蓄、投資などに関する～ 5.8	
	商工サービス業	116	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 26.7	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 23.3	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 12.9	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 11.2	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 10.3	
	自由業	30	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 30.0	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている/年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 13.3		介護技術を習得したり、医療知識について勉強している/仕事の将来性や後継者問題を考えたり、勉強している/貯蓄、投資などに関する知識を勉強している/税金、不動産売買、相続など生活に必要な法律知識を勉強している 10.0		
	管理職	82	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 42.7	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 39.0	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 15.9	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 14.6	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている/社会奉仕活動について調べたり、実際従事している 13.4	
	事務職・専門技術職	270	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 30.0	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 25.6	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 14.4	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 11.5	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 8.5	
	労務職	138	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 21.0	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 18.8	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 8.0	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 3.6	介護技術を習得したり～/仕事の将来性や後継者問題を～/貯蓄、投資などに関する～ 2.9	
	学生	7	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている/正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている/介護技術を習得したり、医療知識について勉強している/貯蓄、投資などに関する知識を勉強している/年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 14.3					
	主婦	266	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 38.0	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 29.3	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 12.8	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 10.5	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 7.9	
	その他の無職	169	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 37.9	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 30.2	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 16.0	社会奉仕活動について調べたり、実際従事している 10.7	介護技術を習得したり～/年金、保険、退職金などに関する～ 8.9	

(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

表V 18-4 老後のための準備  
(ライフステージ別—上位5位)

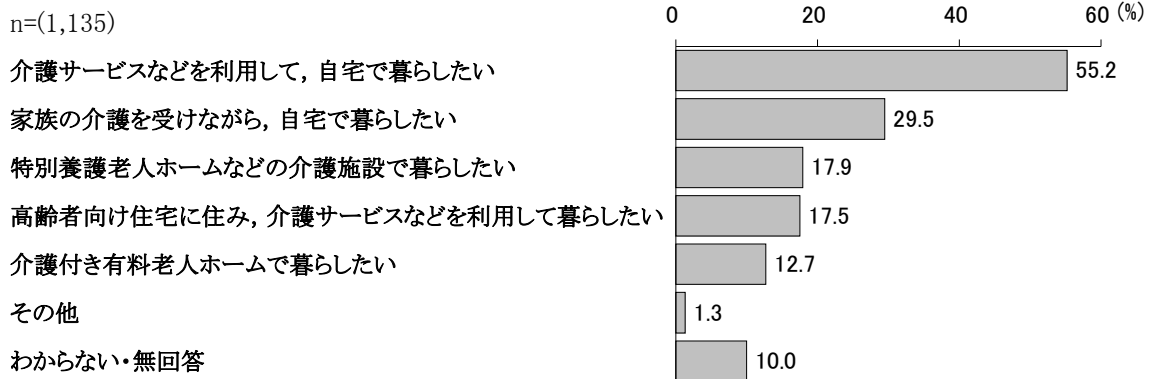
(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
【 ライフ ステー ジ別 】	独身期	122	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 14.8	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている／貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 12.3		仕事の将来性や後継者問題を考えたり、勉強している 7.4	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している／年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 6.6
	家族形成・成長前期	146	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 24.0	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 17.1	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 14.4	住宅を購入する準備をしている 11.0	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 10.3
	家族成長中期	151	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている／正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 23.8		文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 7.9	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 7.3	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 6.6
	家族成長後期	102	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 38.2	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 29.4	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 11.8	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 9.8	貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 8.8
	家族成熟期	152	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 36.8	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 31.6	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 25.7	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 7.9	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 7.2
	高齢期	382	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 41.6	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 31.4	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている 15.4	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 9.2	介護技術を習得したり、医療知識について勉強している 8.4
	その他	77	正しい食生活や禁煙を行うなど生活習慣の改善に努めている 35.1	スポーツ、レクリエーションなどを通じて健康づくりをしている 27.3	年金、保険、退職金などに関する知識を勉強している 14.3	文化活動など老後につながる趣味の活動をしている／貯蓄、投資などに関する知識を勉強している 9.1	

#### 4. 介護が必要になった時の暮らし方

—「介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」が5割台半ばで最も高い—

問19 あなたは、介護が必要になった時、どのように暮らしたいと考えていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



介護が必要になった時の暮らし方としては、「介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(55.2%)が5割台半ばで最も高く、次いで「家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(29.5%)が約3割で、「特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしたい」(17.9%)、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(17.5%)、「介護付き有料老人ホームで暮らしたい」(12.7%)が1割台で続いている。

—「介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は、県央、鹿行で6割前後—

地域別でみると、「介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は、県央(60.2%)と鹿行(59.0%)では6割前後と高く、県北(52.9%)、県南(55.5%)、県西(51.3%)も5割を超えている。また、「家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、県央(32.6%)、県南(29.9%)、県西(31.7%)で3割前後と、県北(26.8%)、鹿行(24.8%)より高くなっている。「特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしたい」については、鹿行(22.9%)と県北(19.5%)で2割前後となっている。

市郡別でみると、「介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は、すべての層で5割を超えている。また、「家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、人口5万人未満の市(35.6%)で3割台半ばと最も高くなっている。

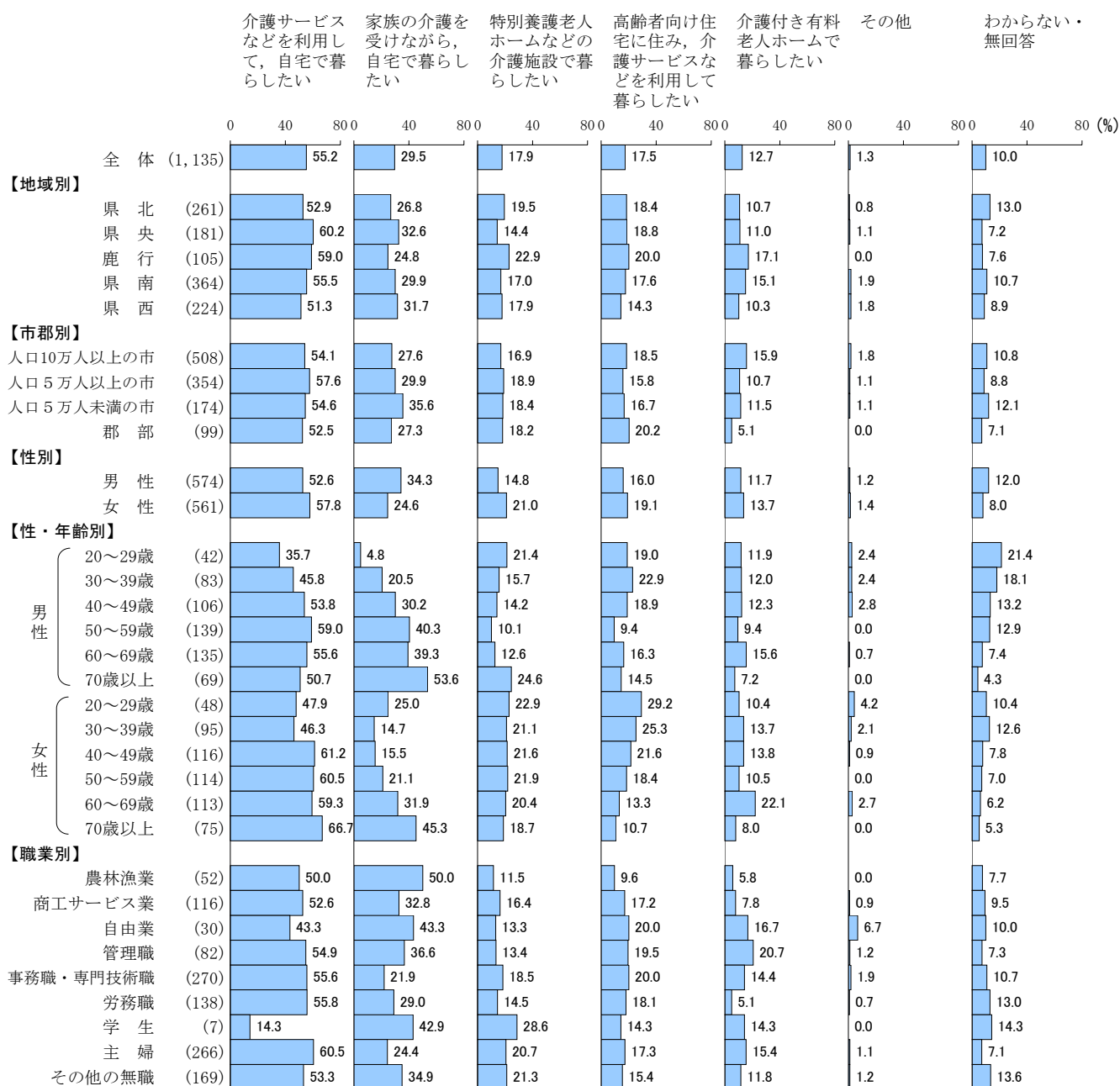
性別でみると、「介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は、女性(57.8%)が男性(52.6%)を約5ポイント上回っている。一方、「家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、男性(34.3%)が女性(24.6%)より約10ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は、女性の70歳以上で6割台半ばを超え、男性の50代(59.0%)、女性の40代～60代で6割前後と高くなっている。また、「家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、男性の70歳以上(53.6%)で5割を超え最も高く、50代(40.3%)、60代(39.3%)でも4割前後となっている。女性でも70歳以上(45.3%)では「家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が4割台半ばと高くなっている。



職業別でみると、「介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は、主婦（60.5%）で6割を超えて最も高く、自由業を除く他の職業でも5割を超えている。また、「家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、農林漁業（50.0%）で5割と最も高く、自由業（43.3%）でも4割を超えている。

図V 19-1 介護が必要になった時の暮らし方  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

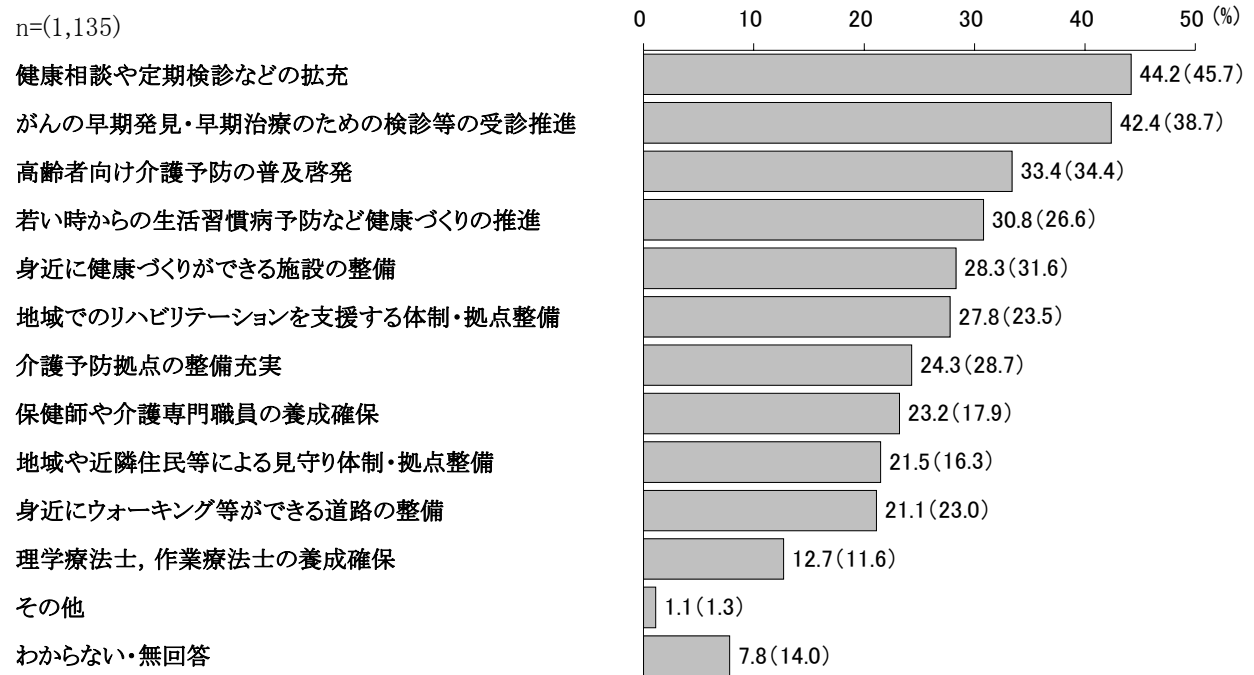


(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

## 5. 介護予防や健康づくりのために自治体が力を入れるべきこと

—「健康相談や定期検診などの拡充」と「がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進」が4割を超えている—

問20 介護予防や健康づくりのために、県や市町村はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※( )内の数値は、平成19年の調査結果

※平成19年では「介護保険制度等における多様な介護サービスの提供」が36.2%。

介護予防や健康づくりのために力を入れるべきこととしては、「健康相談や定期検診などの拡充」(44.2%)と「がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進」(42.4%)が4割を超えて、とくに高くなっている。また、「高齢者向け介護予防の普及啓発(シルバーリハビリ体操や正しい食生活の普及など)」(33.4%)、「若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進」(30.8%)も3割を超えて高くなっている。

前回調査と比べると、「若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進」が約4ポイント増加しているほか、「保健師や介護専門職員の養成確保」が約5ポイント、「地域や近隣住民等による見守り体制・拠点整備」も約5ポイント増えている。

## —ほぼすべての層で「健康相談や定期検診などの拡充」と「がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進」が上位2位—

地域別でみると、多少の順位の違いはあるものの、すべての地域で「健康相談や定期検診などの拡充」と「がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進」が上位2位を占めている。県北、県央、鹿行、県南では「高齢者向け介護予防の普及啓発（シルバーリハビリ体操や正しい食生活の普及など）」が、県西では「若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進」が3位に入っている。

市郡別でみると、多少の順位の違いはあるものの、すべての層で「健康相談や定期検診などの拡充」と「がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進」が上位2位を占めている。市部では、3位が「高齢者向け介護予防の普及啓発（シルバーリハビリ体操や正しい食生活の普及など）」であるが、郡部では「身近に健康づくりができる施設（フィットネス施設、体育館、公園等）の整備」が3位に入っている。

性別でみると、男女とも上位3位は共通している。

性・年齢別でみると、男性では、20代～40代で「がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進」が、50代以上では「健康相談や定期検診などの拡充」が1位となっている。20代で、「身近に健康づくりができる施設（フィットネス施設、体育館、公園等）の整備」が、70歳以上で、「高齢者向け介護予防の普及啓発（シルバーリハビリ体操や正しい食生活の普及など）」が2位に入っている。女性では、20代、30代で「がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進」が、40代、50代、70歳以上で「健康相談や定期検診などの拡充」が1位となっているが、60代では「高齢者向け介護予防の普及啓発（シルバーリハビリ体操や正しい食生活の普及など）」が1位となっている。70歳以上では、3位に「地域や近隣住民等による見守り体制・拠点整備」が入っている。

職業別でみると、農林漁業、商工サービス業、管理職、事務職・専門技術職、労務職では、順位の多少の違いはあるものの、「健康相談や定期検診などの拡充」と「がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進」が上位2位を占めている。自由業では「高齢者向け介護予防の普及啓発（シルバーリハビリ体操や正しい食生活の普及など）」が1位に入っている。また、主婦、その他の無職では、「高齢者向け介護予防の普及啓発（シルバーリハビリ体操や正しい食生活の普及など）」が2位となっている。

表 V 20-1 介護予防や健康づくりのために自治体が力を入れるべきこと  
(地域別、市郡別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
総数		1135	健康相談や定期検診などの拡充 44.2	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 42.4	高齢者向け介護予防の普及啓発 33.4	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 30.8	身近に健康づくりができる施設の整備 28.3
【地域別】	県北	261	健康相談や定期検診などの拡充 42.5	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 36.4	高齢者向け介護予防の普及啓発 34.1	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 33.0	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 26.8
	県央	181	健康相談や定期検診などの拡充 47.0	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 44.2	高齢者向け介護予防の普及啓発 36.5	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 34.8	身近に健康づくりができる施設の整備 32.6
	鹿行	105	健康相談や定期検診などの拡充 45.7	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 43.8	高齢者向け介護予防の普及啓発 36.2	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 31.4	身近に健康づくりができる施設の整備 29.5
	県南	364	健康相談や定期検診などの拡充 46.2	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 44.0	高齢者向け介護予防の普及啓発 34.1	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 30.8	身近に健康づくりができる施設の整備 27.7
	県西	224	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 44.6	健康相談や定期検診などの拡充 40.2	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 28.1	高齢者向け介護予防の普及啓発／身近に健康づくりができる施設の整備 27.7	
【市郡別】	人口10万人以上の市	508	健康相談や定期検診などの拡充 43.7	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 42.7	高齢者向け介護予防の普及啓発 35.2	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 33.3	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 29.5
	人口5万人以上の市	354	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 43.5	健康相談や定期検診などの拡充 43.2	高齢者向け介護予防の普及啓発 31.9	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 29.9	身近に健康づくりができる施設の整備 28.5
	人口5万人未満の市	174	健康相談や定期検診などの拡充 48.3	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 38.5	高齢者向け介護予防の普及啓発 34.5	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進／身近に健康づくりができる施設の整備 27.6	
	郡部	99	健康相談や定期検診などの拡充／がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 43.4		身近に健康づくりができる施設の整備 36.4	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 29.3	高齢者向け介護予防の普及啓発／若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 27.3

表V 20-2 介護予防や健康づくりのために自治体が力を入れるべきこと  
(性別、性・年齢別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
【性別】	男性	574	健康相談や定期検診などの拡充 44.4	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 42.7	高齢者向け介護予防の普及啓発 31.7	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 31.0	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 26.1
	女性	561	健康相談や定期検診などの拡充 44.0	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 42.1	高齢者向け介護予防の普及啓発 35.1	身近に健康づくりができる施設の整備 31.7	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 30.7
【性・年齢別】	男性	20～29歳	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 42.9	身近に健康づくりができる施設の整備 38.1	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進／健康相談や定期検診などの拡充 35.7	高齢者向け介護予防の普及啓発 31.0	
		30～39歳	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 51.8	健康相談や定期検診などの拡充 39.8	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 38.6	高齢者向け介護予防の普及啓発／身近に健康づくりができる施設の整備 26.5	
		40～49歳	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 42.5	健康相談や定期検診などの拡充 40.6	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 33.0	高齢者向け介護予防の普及啓発 32.1	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 28.3
		50～59歳	健康相談や定期検診などの拡充 49.6	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 44.6	高齢者向け介護予防の普及啓発 34.5	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 33.1	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 30.2
		60～69歳	健康相談や定期検診などの拡充 42.2	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 39.3	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 33.3	高齢者向け介護予防の普及啓発 28.9	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 25.2
		70歳以上	健康相談や定期検診などの拡充 55.1	高齢者向け介護予防の普及啓発 37.7	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 34.8	介護予防拠点の整備充実 21.7	保健師や介護専門職員の養成確保 18.8
		20～29歳	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 64.6	健康相談や定期検診などの拡充 54.2	高齢者向け介護予防の普及啓発／若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進／地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 39.6		
	女性	30～39歳	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 54.7	健康相談や定期検診などの拡充 43.2	身近に健康づくりができる施設の整備 37.9	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 29.5	高齢者向け介護予防の普及啓発 25.3
		40～49歳	健康相談や定期検診などの拡充 45.7	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 42.2	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 33.6	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 30.2	介護予防拠点の整備充実 28.4
		50～59歳	健康相談や定期検診などの拡充 45.6	高齢者向け介護予防の普及啓発 40.4	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進／身近に健康づくりができる施設の整備 37.7		
		60～69歳	高齢者向け介護予防の普及啓発 47.8	健康相談や定期検診などの拡充 41.6	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 38.1	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 32.7	身近に健康づくりができる施設の整備 30.1
		70歳以上	健康相談や定期検診などの拡充 37.3	高齢者向け介護予防の普及啓発 32.0	地域や近隣住民等による見守り体制・拠点整備 28.0	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 26.7	保健師や介護専門職員の養成確保 25.3

表V 20-3 介護予防や健康づくりのために自治体が力を入れるべきこと  
(職業別—上位5位)

(単位：%)

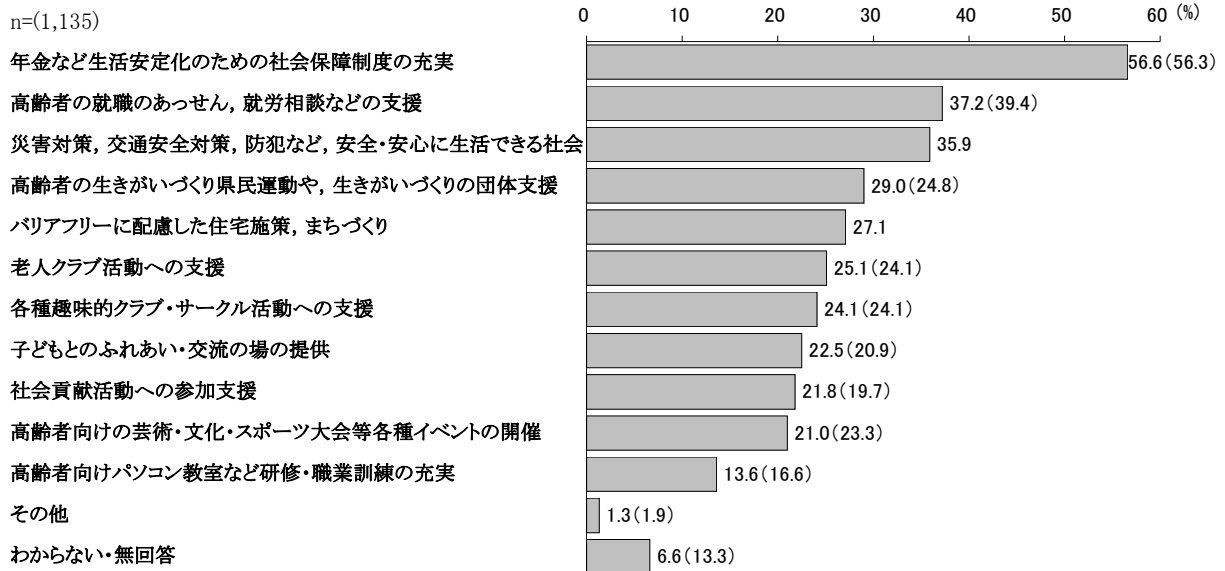
		n	1位	2位	3位	4位	5位
【職業別】	農林漁業	52	健康相談や定期検診などの拡充 50.0	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 40.4	高齢者向け介護予防の普及啓発 38.5	介護予防拠点の整備充実 28.8	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備/身近に健康づくりができる施設の整備 19.2
	商工サービス業	116	健康相談や定期検診などの拡充 50.0	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 43.1	身近に健康づくりができる施設の整備 31.0	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進/地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 30.2	
	自由業	30	高齢者向け介護予防の普及啓発 36.7	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 30.0	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進/健康相談や定期検診などの拡充/介護予防拠点の整備充実/身近に健康づくりができる施設の整備 26.7		
	管理職	82	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 58.5	健康相談や定期検診などの拡充 51.2	高齢者向け介護予防の普及啓発 36.6	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 35.4	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進/身近に健康づくりができる施設の整備 32.9
	事務職・専門技術職	270	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 51.5	健康相談や定期検診などの拡充 45.6	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 31.5	高齢者向け介護予防の普及啓発 31.1	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 30.7
	労務職	138	健康相談や定期検診などの拡充 39.1	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 37.7	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進/身近に健康づくりができる施設の整備 29.7		高齢者向け介護予防の普及啓発 28.3
	学生	7	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 71.4	高齢者向け介護予防の普及啓発/身近に健康づくりができる施設の整備 57.1		若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 42.9	健康相談や定期検診などの拡充/地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 28.6
	主婦	266	健康相談や定期検診などの拡充 39.5	高齢者向け介護予防の普及啓発 34.6	がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 33.5	若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 32.7	地域でのリハビリテーションを支援する体制・拠点整備 30.5
	その他の無職	169	健康相談や定期検診などの拡充 48.5	高齢者向け介護予防の普及啓発/がんの早期発見・早期治療のための検診等の受診推進 38.5		若い時からの生活習慣病予防など健康づくりの推進 33.1	介護予防拠点の整備充実 24.3

(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

## 6. 高齢者がいきいきと生活するために自治体が力を入れるべきこと

—「年金など生活安定化のための社会保障制度の充実」が5割台半ばで最も高い—

問21 高齢者がいきいきと生活できるようにするために、県や市町村はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



※( )内の数値は, 平成19年の調査結果

※( )がない選択肢は, 平成19年ではなし。

※平成19年では「公民館講座など生涯学習の機会の充実」が20.2%。

高齢者がいきいきと生活するために力を入れるべきこととしては、「年金など生活安定化のための社会保障制度の充実」(56.6%)が5割台半ばを超え最も高く、次いで「高齢者の就職のあっせん, 就労相談などの支援」(37.2%)、「災害対策, 交通安全対策, 防犯など, 安全・安心に生活できる社会」(35.9%)が3割台半ばを超え、「高齢者の生きがいがづくり県民運動や, 生きがいがづくりを行う団体の支援」(29.0%)、「バリアフリーに配慮した住宅施策, まちづくり」(27.1%)、「老人クラブ活動への支援」(25.1%)が2割台半ばを超え、続いている。

前回調査と比べると、「高齢者の生きがいがづくり県民運動や, 生きがいがづくりを行う団体支援」が約4ポイント増加している。

### —すべての層で「年金など生活安定化のための社会保障制度の充実」が1位—

地域別でみると、すべての地域で「年金など生活安定化のための社会保障制度の充実」が1位となっている。2位には、県北、鹿行、県南で「高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援」が、県央では「災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会」が入っている。また、県西では、「高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援」と「災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会」が同率で2位となっている。

市郡別でみると、すべての層で、「年金など生活安定化のための社会保障制度の充実」が1位となっている。人口10万人以上の市、郡部では「災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会」が、人口5万人以上の市、人口5万人未満の市では、「高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援」が2位に入っている。

性別でみると、男女とも「年金など生活安定化のための社会保障制度の充実」が1位となっている。また、男性では「各種趣味的クラブ・サークル活動への支援」が、女性では「バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり」が5位に入っている。

性・年齢別でみると、男女とも、全年代にわたって、「年金など生活安定化のための社会保障制度の充実」が1位となっており、20代では、「老人クラブ活動への支援」が、30代～50代では「高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援」が、60代以上では「災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会」が、2位に入っている。

職業別でみると、すべての職種で、「年金など生活安定化のための社会保障制度の充実」が1位となっている。農林漁業では「高齢者の生きがづくり県民運動や、生きがづくりを行う団体の支援」が、自由業、主婦、その他の無職では「災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会」が2位に入っており、その他の職種では、すべて「高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援」が2位となっている。



表V 21-1 高齢者がいきいきと生活するために自治体が力を入れるべきこと  
(地域別、市郡別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
総数		1135	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 56.6	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 37.2	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 35.9	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 29.0	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 27.1
【地域別】	県北	261	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 54.8	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 36.8	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 34.9	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 27.2	老人クラブ活動への支援／高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 26.8
	県央	181	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 61.3	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 42.0	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 38.7	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 35.4	社会貢献活動への参加支援 29.8
	鹿行	105	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 58.1	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 41.9	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 33.3	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 26.7	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 22.9
	県南	364	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 53.6	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 36.3	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 34.3	老人クラブ活動への支援 27.5	各種趣味的クラブ・サークル活動への支援 26.9
	県西	224	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 58.9	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援／交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 35.7	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 33.0	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 27.2	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 28.7
【市郡別】	人口10万人以上の市	508	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 57.7	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 37.6	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 37.4	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 30.3	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 28.7
	人口5万人以上の市	354	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 57.3	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 40.1	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 34.2	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 25.7	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 24.9
	人口5万人未満の市	174	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 50.0	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 32.8	老人クラブ活動への支援 31.6	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 30.5	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 29.9
	郡部	99	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 59.6	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 42.4	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 40.4	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 33.3	老人クラブ活動への支援 27.3

表V 21-2 高齢者がいきいきと生活するために自治体が力を入れるべきこと  
(性別、性・年齢別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
【性別】	男性	574	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 54.4	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 38.9	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 34.1	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 25.3	各種趣味的クラブ・サークル活動への支援 24.9
	女性	561	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 58.8	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 37.6	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 35.5	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 32.8	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 29.8
【性・年齢別】	男性	20～29歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 42.9	老人クラブ活動への支援 38.1	各種趣味的クラブ・サークル活動への支援 33.3	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 31.0	子どもとのふれあい～/災害対策、交通安全対策、防犯など～ 28.6
		30～39歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 55.4	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 44.6	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 32.5	各種趣味的クラブ・サークル活動への支援 31.3	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 30.1
		40～49歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 53.8	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 49.1	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 34.0	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 31.1	各種趣味的クラブ・サークル活動～/子どもとのふれあい～ 28.3
		50～59歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 61.9	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 46.0	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 34.5	社会貢献活動への参加支援 32.4	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 30.9
		60～69歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 51.9	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 37.8	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 31.9	社会貢献活動への参加支援 23.7	老人クラブ活動への支援 23.0
		70歳以上	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 50.7	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 39.1	老人クラブ活動への支援 24.6	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 23.2	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 21.7
		20～29歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 66.7	老人クラブ活動への支援 47.9	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援/バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり/災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 45.8		
	女性	30～39歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 56.8	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 43.2	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 35.8	子どもとのふれあい・交流の場の提供 33.7	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 31.6
		40～49歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 56.0	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 44.8	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 41.4	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 32.8	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 29.3
		50～59歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 68.4	高齢者の就職のあつせん、就労相談などの支援 43.0	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 37.7	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 35.1	社会貢献活動への参加支援 30.7
		60～69歳	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 61.1	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 36.3	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 35.4	老人クラブ活動への支援/バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 29.2	
		70歳以上	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 42.7	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心な社会 40.0	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいがいづくりの団体支援 29.3	老人クラブ活動への支援 24.0	高齢者向けの芸術・文化・スポーツ大会等各種イベントの開催 18.7

表 V 21-3 高齢者がいきいきと生活するために自治体が力を入れるべきこと  
(職業別—上位5位)

(単位：%)

		n	1位	2位	3位	4位	5位
【職業別】	農林漁業	52	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 57.7	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいづくりの団体支援 30.8	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 28.8	老人クラブ活動への支援／各種趣味的クラブ・サークル活動への支援 19.2	
	商工サービス業	116	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 61.2	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 43.1	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 37.9	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいづくりの団体支援 32.8	社会貢献活動への参加支援／バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 30.2
	自由業	30	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 63.3	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援／老人クラブ活動への支援／交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 33.3			各種趣味的クラブ・サークル活動への支援／高齢者向けの芸術・文化・スポーツ大会等各種イベントの開催 23.3
	管理職	82	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 51.2	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 39.0	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 36.6	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいづくりの団体支援／社会貢献活動への参加支援 34.1	
	事務職・専門技術職	270	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 57.8	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 43.3	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 36.7	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 30.4	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいづくりの団体支援 30.0
	労務職	138	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 63.8	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 40.6	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 32.6	老人クラブ活動への支援 30.4	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいづくりの団体支援 28.3
	学生	7	各種趣味的クラブ・サークル活動への支援 71.4	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 57.1	老人クラブ活動への支援 42.9	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいづくりの団体支援／バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 28.6	
	主婦	266	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 58.3	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 38.0	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 34.6	高齢者の生きがいがいづくり県民運動や生きがいづくりの団体支援 32.3	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 28.9
	その他の無職	169	年金など生活安定化のための社会保障制度の充実 45.0	災害対策、交通安全対策、防犯など、安全・安心に生活できる社会 35.5	高齢者の就職のあっせん、就労相談などの支援 30.8	老人クラブ活動への支援 24.3	バリアフリーに配慮した住宅施策、まちづくり 23.1

(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。